

## 教科目名 技術者倫理 (Engineering Ethics)

専攻名・学年 : 全専攻 2年 (教育プログラム 第4学年 ◎科目)

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 授業時間 23.25時間)

担当教員 : 清水啓一郎, 財津 公明

授業の概要			
科学技術は、日々の我々の生活に大きな影響を与えており、技術とそれによる製造物との関係を正しく把握できるのは技術者であり、技術が災害を引き起こすことを防止できるのも技術者である。この授業では、技術者倫理の基礎を学ぶと共に、様々な社会の実例および事例等により、技術者個人の責任感や倫理意識に加え技術が社会や自然に及ぼす影響や効果について考え学ぶ。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A2), JABEE 目標(b)	
(1) 技術者倫理の守備範囲, プロフェッショナルの責任, 安全とは何か について学び理解する。(定期試験と課題)			
(2) 費用便益分析の問題点, 功利主義, 技術者倫理と組織の関係等について学び理解する。(定期試験と課題)			
(3) 公益通報の基本, 地球的視野を持つことの必要性和重要性 について学び理解する。(定期試験と課題)			
(4) 技術士試験問題や就業規則の実例を基に技術者倫理がどう関係しているかを学ぶ。(定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	技術者倫理の視点	技術者倫理における考察の進め方と範囲, 着眼点を学ぶ	【理解の度合い】
2	倫理と法	技術者倫理の守備範囲	
3	公衆の安全, 健康, 福利	プロフェッショナルと倫理規程	
4	安全性とリスク	「安全である」とは	
5	費用便益分析と製造物責任法	功利主義, 費用便益分析, 製造物責任法	
6	倫理的問題の解決法	事實的, 概念的, 相反的, 線引き問題に分類して考察	
7	組織の問題	技術者倫理と組織, 企業倫理の関係	
8	公益通報(内部告発) その1	内部告発の基本的な考え方についてまた告発者を保護する法律について学ぶ	
9	公益通報(内部告発) その2		
10	地球的視野を持つ技術者の倫理	地球的視野を持つ技術者の倫理について学ぶ	
11	技術士試験での技術者倫理の演習 1	技術士試験の過去問を演習することによって, 実際の実例に学ぶ	
12	技術士試験での技術者倫理の演習 2		
13	就業規則の実例	実際の企業において使用されている就業規則に倫理がどう関係しているかを学ぶ	
14	就業規則の実例 (社会保険労務士の講演を含む)	社会的に倫理を扱っている資格者がどのようなことに注目しているかを学ぶ	
15	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意	講義は教科書を基本に進めるが, 教科書を補うためにプリントも適宜配付するので, 各自書き込みやファイリングをしておくこと。		【総合達成度】
教科書	藤本 温, 「技術者倫理の世界(第2版)」, 森北出版		
参考図書	米国 NSPE 倫理審査委員会, 「科学技術者倫理の事例と考察」, 丸善 「技術士第1次試験」, オーム社編, 「就業規則の実例」		
自学上の注意	新聞, TV, Web での企業, 官公庁の技術者倫理に関係すると思われる情報に注意しておくこと。		
関連科目	倫理(本科), 工学倫理(M科), 地域水環境工学実習(C科), 環境保全工学		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について定期試験とレポート, グループディスカッション(GD)で総合評価する。 総合評価=定期試験×0.8+(レポート+GD)×0.2 総合評価が60点以上を合格とする。再試験の受験資格はレポートを全て提出した者に与える。		【総合評価】 点